憂

樹老、曉露伴我而泣、三遜草衰、歎而喟然、吟之率爾而已、〇下略

〔古今著聞集 四文學〕後江相公〇大江朝綱の澄明におくれてのち、後世をとぶらはれける願文に、

悲之亦悲莫悲於老後子、恨而更恨莫恨於少先親、

とかけるこそ、前後相違の恨、げにさこそはと、さりがたくあはれにおぼゆれ、

〔源平盛衰記 九〕康頼熊野詣附祝言事

六波羅ノ使近付寄テ、是ハ丹左衛門尉基安ト申者ニ侍、六波羅殿ヨリ赦免ノ御教書候、丹波少将殿ニ進上セントト云、〇中略判官入道披之讀ニ、〇中略俊寛僧都ト云、四ノ文字コソ無リケレ、執行ハ御教書取上テ、ヒロゲツ卷ツ披ツ、千度百度シケレドモ、カヽ子バナジカハ有ベキナレバ、頓テ伏倒絶入ケルコソ無慚ナル、良有起アガリテハ、血ノ涙ヲゾ流シケル、〇中略僧都ハ日來ノ歎ハ、思ヘバ物ノ數ナラズ、古郷ノ戀シキ事モ、此島ノ悲シキ事モ、三人語テ泣ツ笑ツスレバコソ、慰便トモ成ツレ、其猶忍カ子テハ、憂音ヲノミコソ泣ツルニ、打捨テ上給ナン跡ノツレヾレ、兼テ思ニイカヾセン、サテ三年ノ契絶ハテヽ、獨留テ歸上リ給ハンズルニヤ、穴名殘惜ヤ〳〵トテ、二人ガ袂ヲヒカヘツヽ、聲モ惜ズヲメキケリ、〇下略

〔新撰字鏡 小〕忡 耻中反、平、心憂也、心保止波志留、又宇禮不、 悁 莫妙反、伊支度保留、又伊太彌、宇禮不、

〔類聚名義抄 六心〕惆 音抽 ウレフ 憀 俗、ウレフ、和ヒク、 悳 古憂字 惪 古 患 干慣反、ウレフ、 忤 ウレフ 悴 ウレフ

悁 音因 ウレフ 忞 音又 ウレフ 惙 竹劣反 ウレフ 慅 倉到反、ウレフ、 慘 千感反、ウレフ、 忡 ウレフ 怞 音紬 ウレフ 惄 女六反、ウレフ、

恂恂 ウレヘ 悇 士胡反、ウレフ、 愴 楚莊反、ウレフ、 悸 其季反、ウレフ、 悥 ウレフ 怲 ウレフ 〔同 九欠〕愀 子六反、ウレフ、

〔伊呂波字類抄 宇人事〕愁 ウレフ、ウレヘ、 憂 患 悁 悶 忡 悺 悄 慘 戚 愬 懆 恤 惔 瘁

慽 緘 惆 怊 愇 慒 倍 悴 羅 恙 忉 音刀 怞 疾 憀 惱 騷 愵 怲 惋

慨 慈 悼 旰 惴 怕 搖 慬 悇 慛 㦌 恗 [illegible] 怲 花 懝 優 負 郝 愀